

さわらび会「永井ゼミOB会」が行われました。

2009年11月7日(土)午後6時、法政大学スタッフクラブ(ボアソナードタワー25階)にて「永井ゼミOB会」が行われました。

今年のOB会は夜の開催とあって、参加者が減少するかとも思いましたが、まさに杞憂で、なんと昨年を上回る約50名でした。お子様を同伴して参加したOB・OGも多く、終始和やかな雰囲気が進められました。

永井先生は22期や23期という若い世代のゼミ生が数多く参加してくれたことを特に喜んでおられました。また、歓談中や参加者からの近況報告の間も終始ニコニコされながら過ごされました。

やはり「永井節」は今年も健在でした。冒頭のご挨拶はいつも通り短めでしたが、恒例のお話の時間では、当初の予定時間をはるかに上回るものとなり、校歌斉唱やワッショイの時間を割愛するまでに至りました。

しかし、永井先生のお話はいつもながら「聴き甲斐」あるもので、健康な日々を送っていることや、OB会でこれだけ多くのゼミ生が集まるのは本当に永井ゼミくらいだということ、皆の顔を見たり話をしてとても今日はわくわくしているということ、さらには、教壇生活を終えて時間があるので、今から俺のメールアドレスを言うからメモをして送れ、と指示する等、永井先生らしさが前面にでる一幕もありました・・・。

お話も終盤にさしかかり、いよいよ最後となった時、永井先生らしくなく、といえは怒られるかもしれませんが、「OB会に参加してくれて本当にありがとう」、いう感謝の言葉を何度も私たちに向かって口にされました。その言葉を聴くに及び、改めて、この年に一度のOB会を、とても貴重な機会と位置付けていかなければと思いついたのは私だけではないと思います。

来年、一人でも多くの永井ゼミ生がOB会に参加してくれることを心から願っています。そして、今年のように皆でわいわいと楽しい一時を過ごそうではありませんか！

それでは、また来年！皆様、お元気でご活躍下さい！！

文責 16期 岡田

